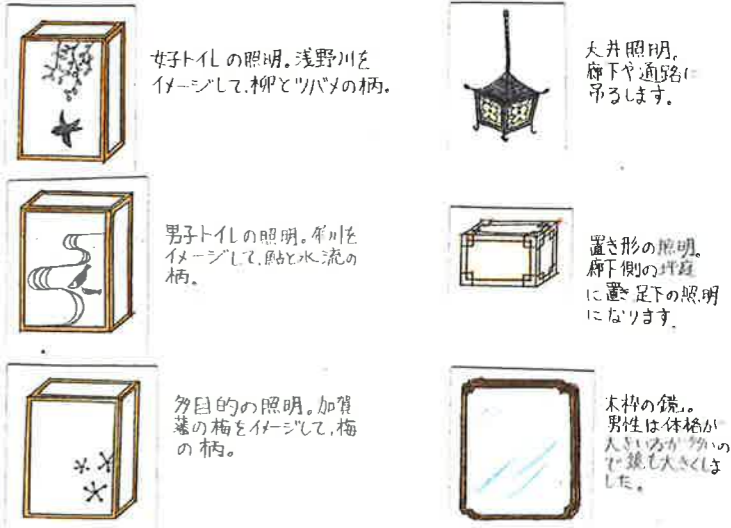
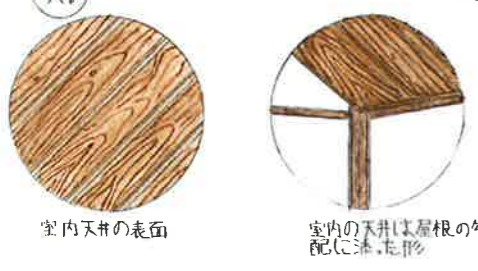
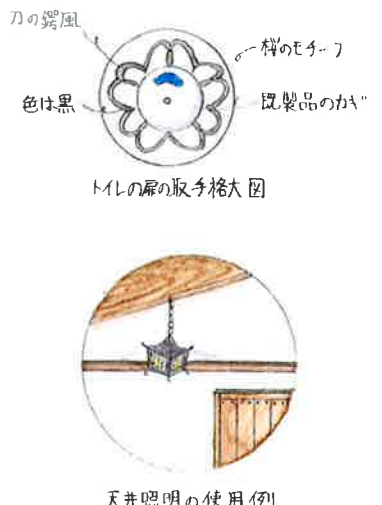
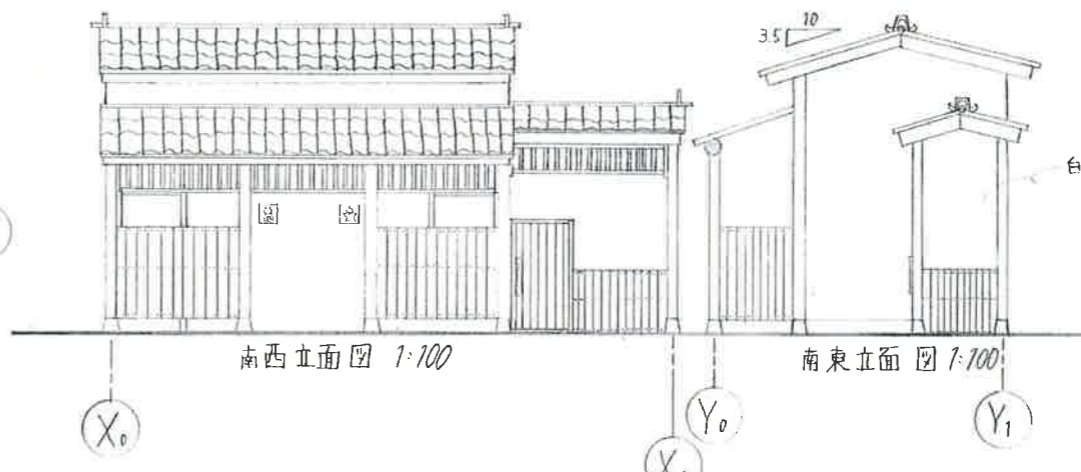
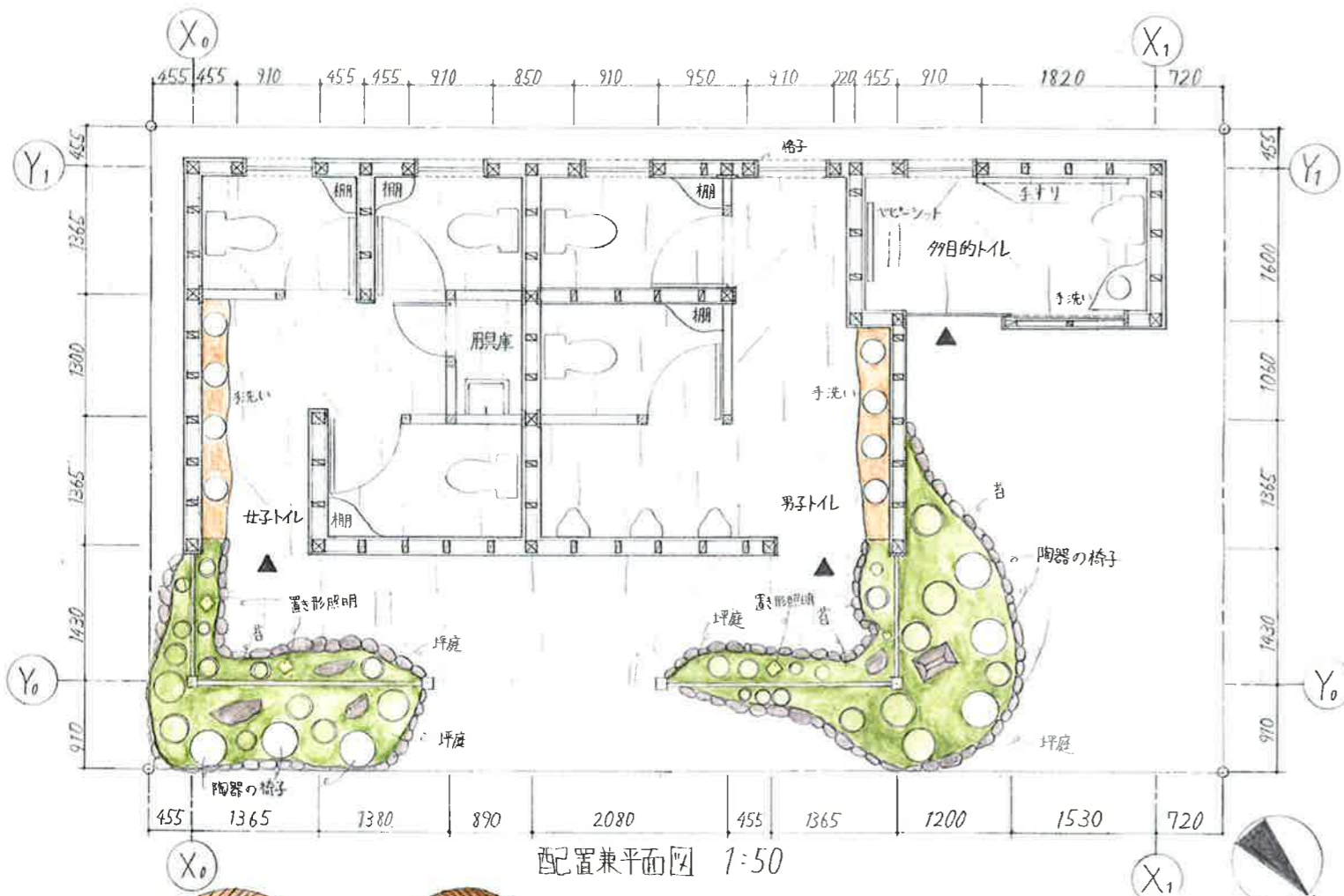


# 設計主旨

このトイレは武家屋敷らしきを取り入れ、過ごしやすい工夫を取り入れました。内装は基本的に木を基調とし、床は石の床で切り石感とし、水はけを良くしました。また、照明の行燈は「浅野川」といわれている浅野川、男子トイレを「男」といわれている犀川をイメージし、多目的トイレは梅の模様とし、和風のすかしにしました。天井から下げる照明に「加賀」の天井照明としました。洗面台は水の木目美しい板とし、洗面器は丸の白と白の丸い洗面器としました。ドアは紙が打てある木製のドアとし、ドアの「か」は既製のものに「か」のついでに全金属製の錠部も施しました。また、トイレの上部に椅子を入れ、通気性と視覚的な爽さを取り入れました。外観は和風の風景に合うように古民家風としました。トイレの内部へ続く廊下は木の板で削り、風通しの良い開放的が削りました。また、廊下に坪庭を作り、利用する方の心を和ませて快適に利用出来るようにしました。外壁に面している2カ所の坪庭はそれぞれ陶器の椅子が設置されており、坪庭を楽しみながら休憩出来ます。和風のすかしは広くており、歩いずの幅もスムーズに通る事が出来ます。また、段差がなく全面700mmになっているので、転ぶ可能性が少なく安全です。また、元からある「オート」を意図して、階段を配置しました。耐震面では、空間が広くなり狭くならないようにすると同時に利用する人が使いやすい広さとなるように壁と間仕切り壁を使い分けた面を工夫しました。



全体配置図 1:200

|       |                              |                      |
|-------|------------------------------|----------------------|
| 敷地面積  | 11400 X 6800                 | 7752 m <sup>2</sup>  |
| 建築面積  | (7535 X 760) + (2730 X 760)  | 45.51 m <sup>2</sup> |
| 延べ床面積 | (7535 X 5160) + (2730 X 760) | 45.51 m <sup>2</sup> |
| 建ぺい率  | 45509700 ÷ 77520000 X 100    | 58%                  |
| 容積率   | 45509700 ÷ 77520000 X 100    | 58%                  |

